

教科書「せいいかつか」の 特徴と使い方

大宮 健一

特徴

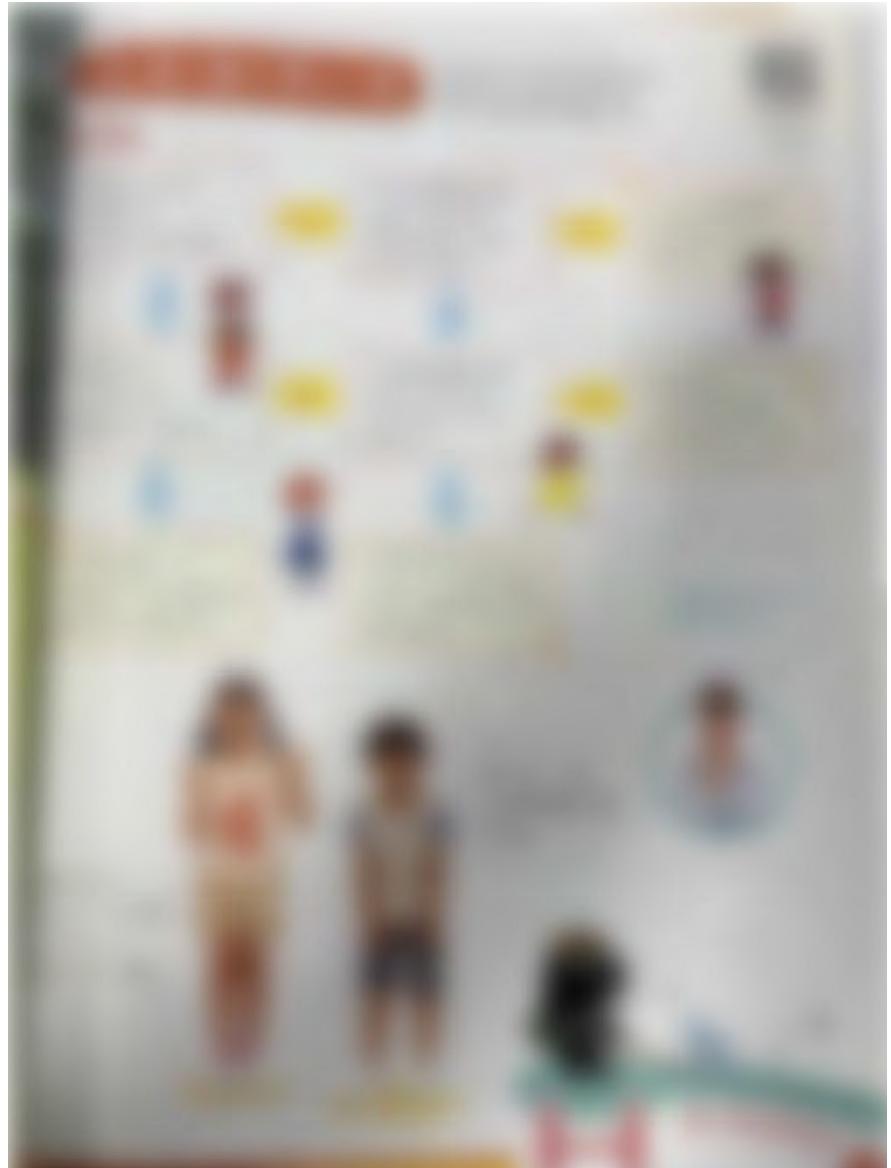
学習への動機づけ～わくわくすいっち

各単元のはじめに、「はい」「いいえ」でたどっていく、「わくわくすいっち」があります。

はじめのいっぽをイメージできるように、言葉をえらびながら、作りました。

「いいえ」が続く子の気持ちがしづまないようを考えました。

右上のわくわくシートを使うと、自分の結果を記入できるシートがダウンロードできます。



特徴

めあてをしっかりもつ~「サイコロ」

●サイコロ

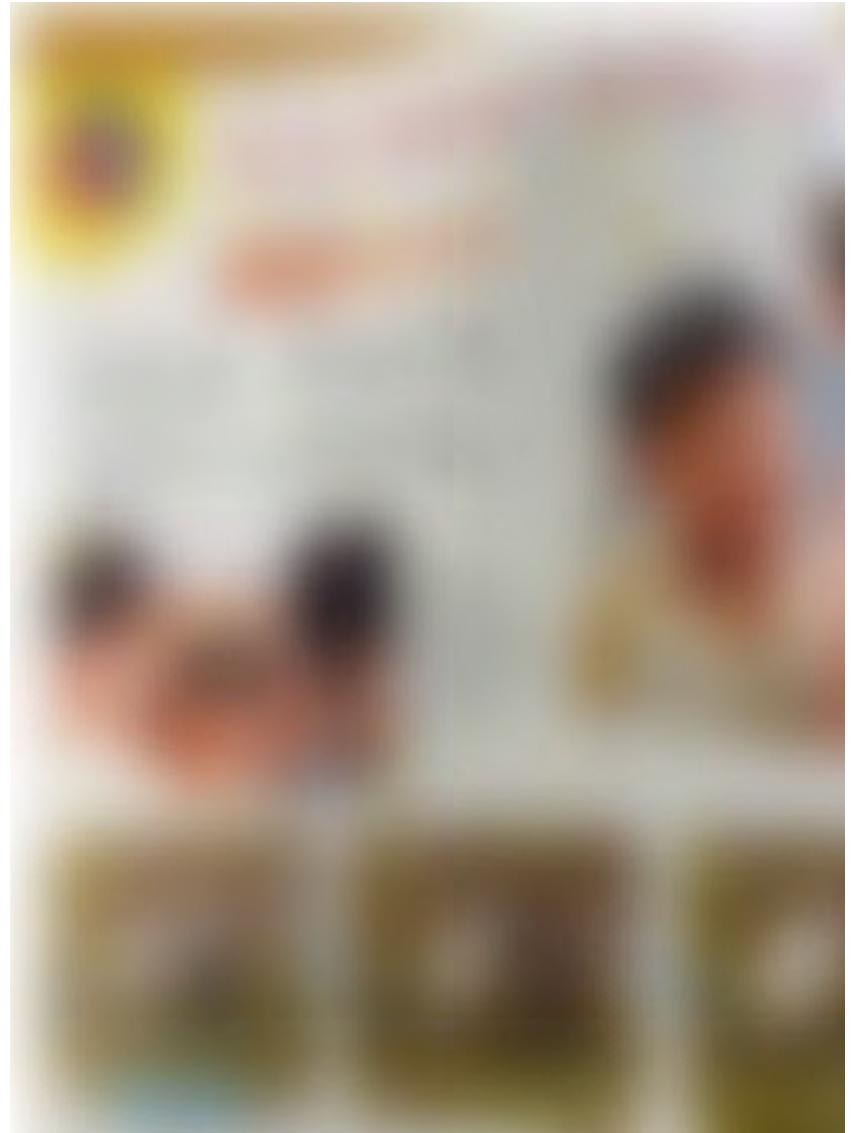
学習活動で、特に発揮すると
効果的な「力」を示しています。



ページの左上にサイコロがあります。めあてがわかる
ように「見える化」しています。

中には、2つの側面が書かれているサイコロもあります。

がんばるところを意識して活動できることを願っています。

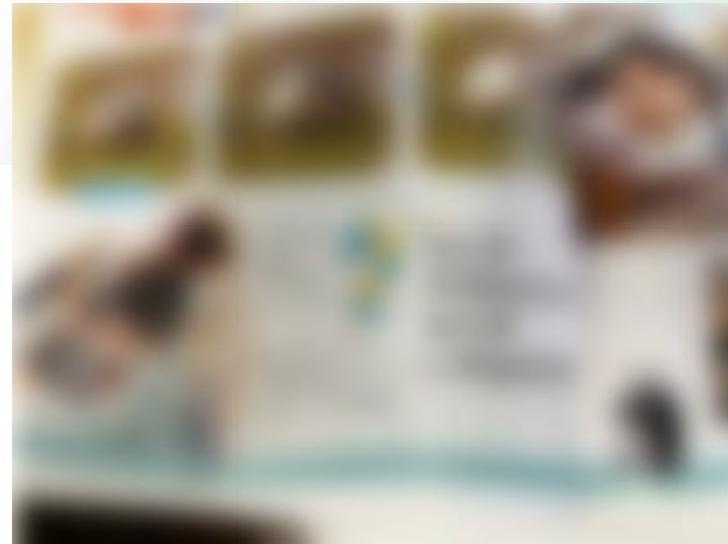
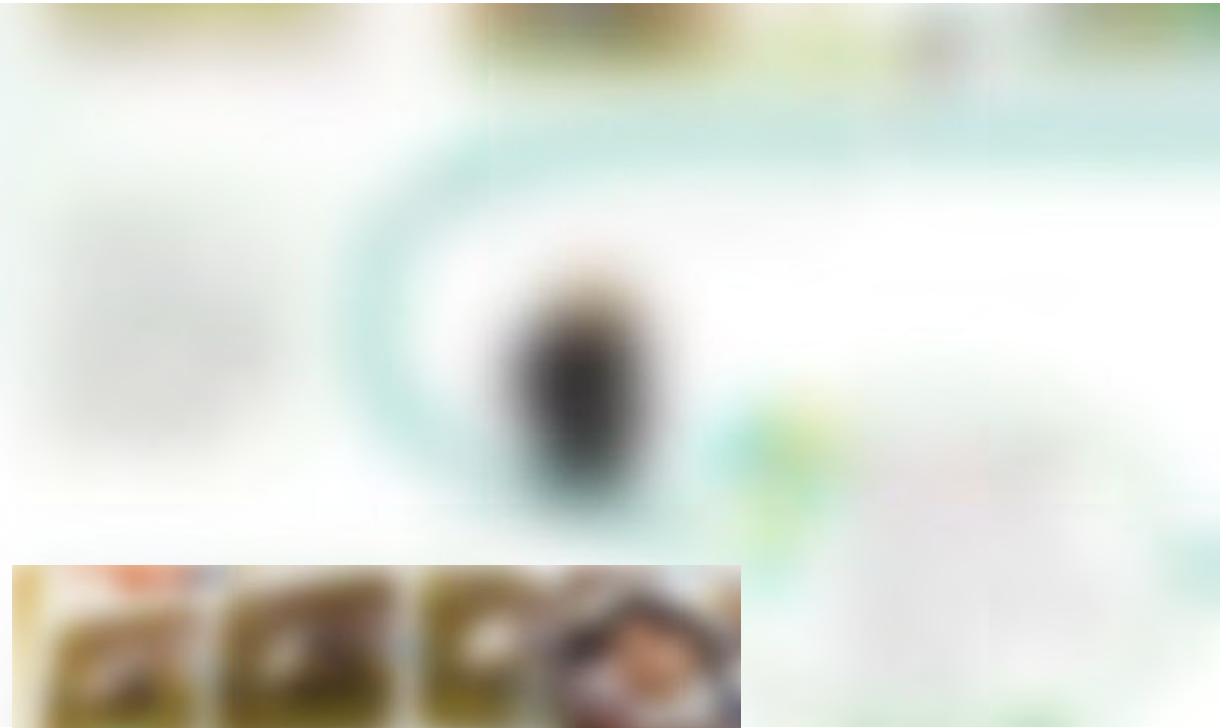
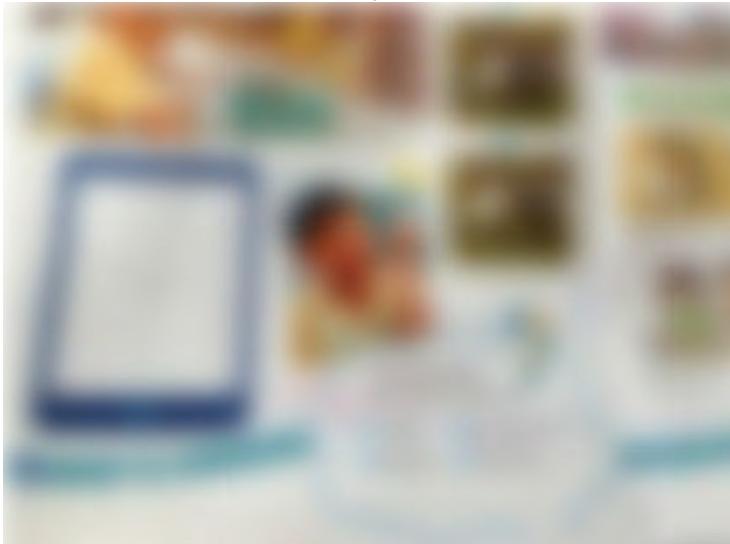


特徴

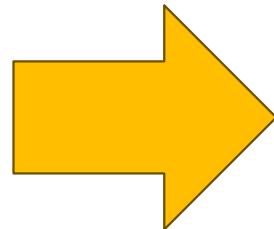
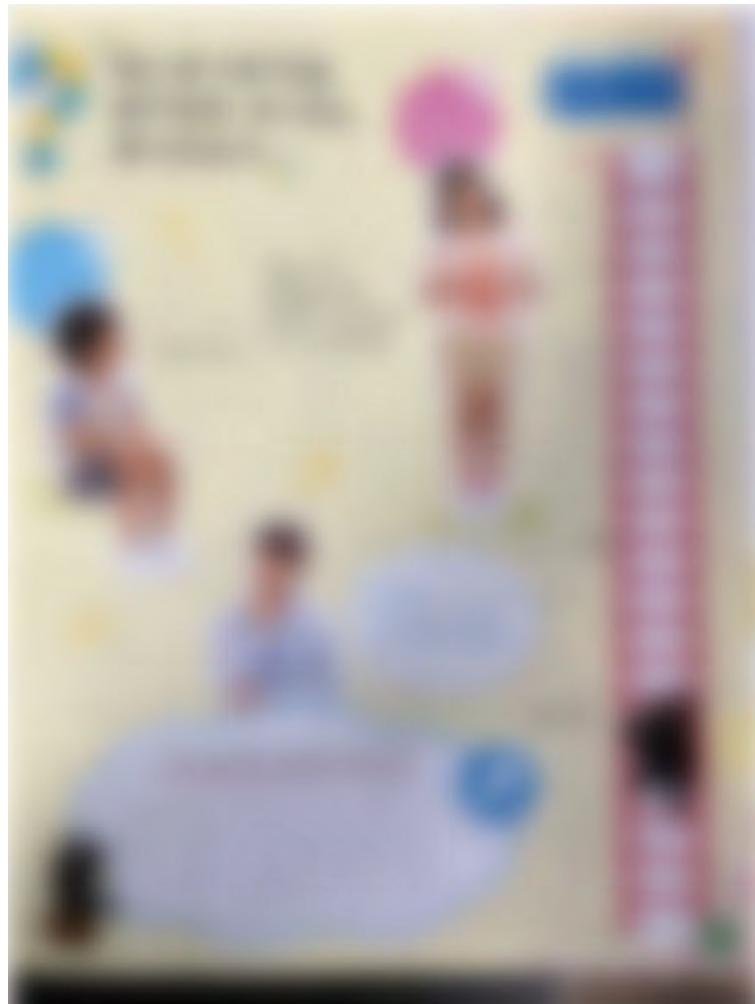
いぐらのはっけんロード

ゆびでなぞったり、目でたどったりして、いぐらといっしょに考えたり、かんじたりできる「はっけんロード」

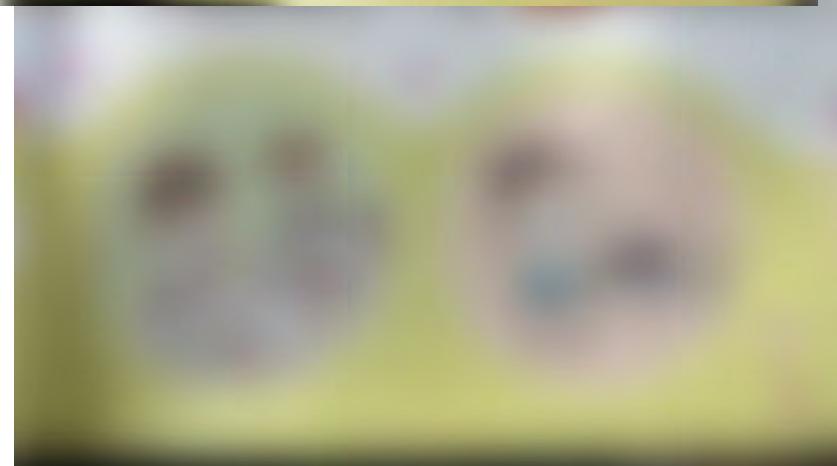
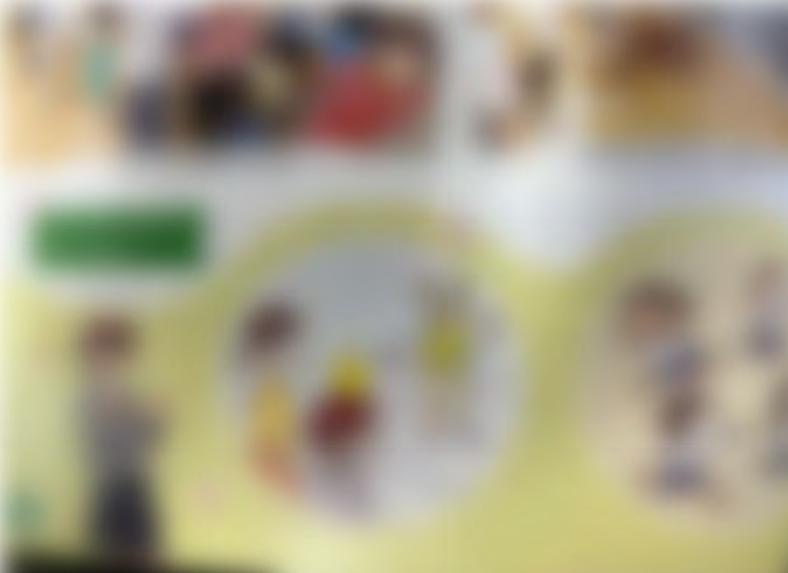
途中の「はてな」の表記は編集後だいぶ改良されています。



まんぞくはしご→ぐんぐんはしご



幼稚園に育ってほしい10の姿

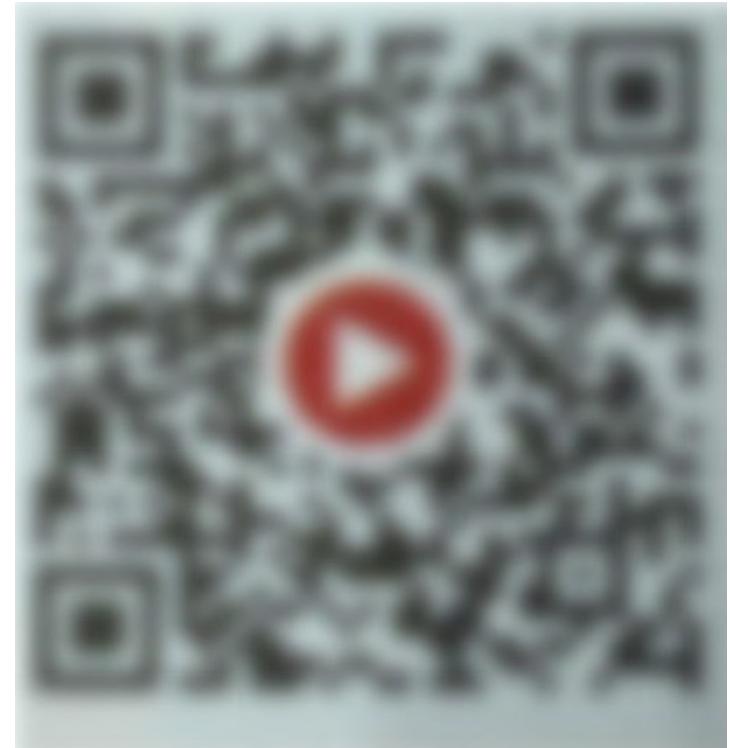


特徴

デジタルを意識～まなびリンク

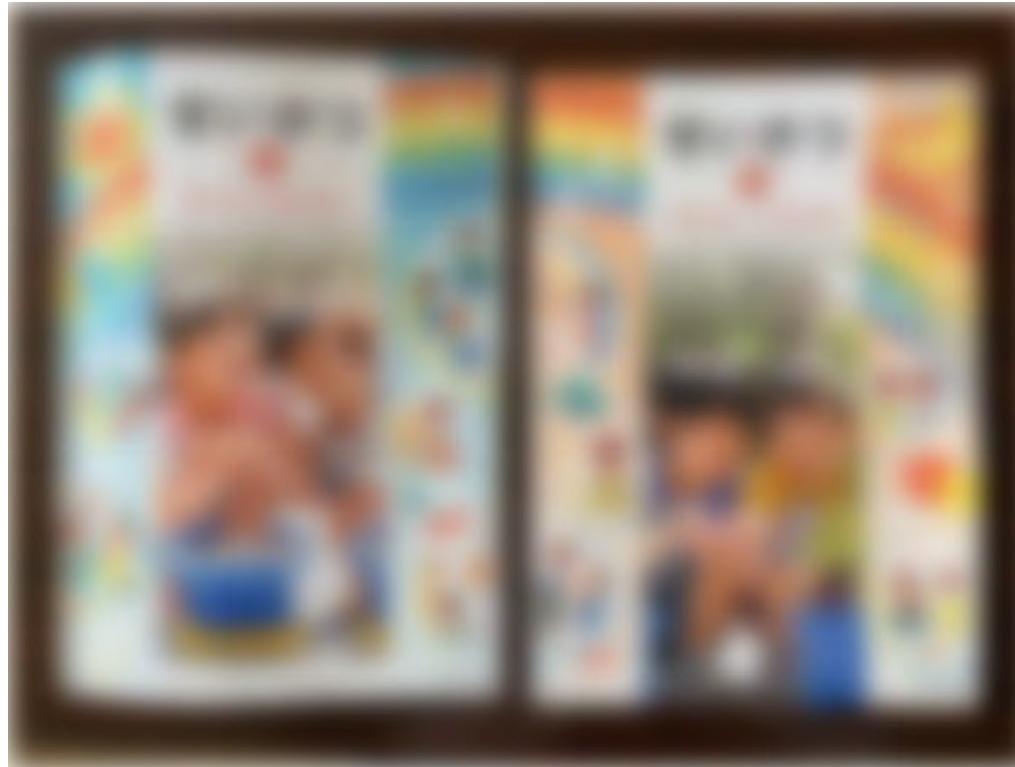
編集会議では、デジタル教科書やデジタル資料の活用について、話し合われました。動画とのリンクやデジタル図鑑へのリンクを多く取り入れています。

ICTの活用は重要。これからの中には必要不可欠。しかし、体験すること、実際に五感で感じることの大切さは特に生活科の場合わすれてはならない。

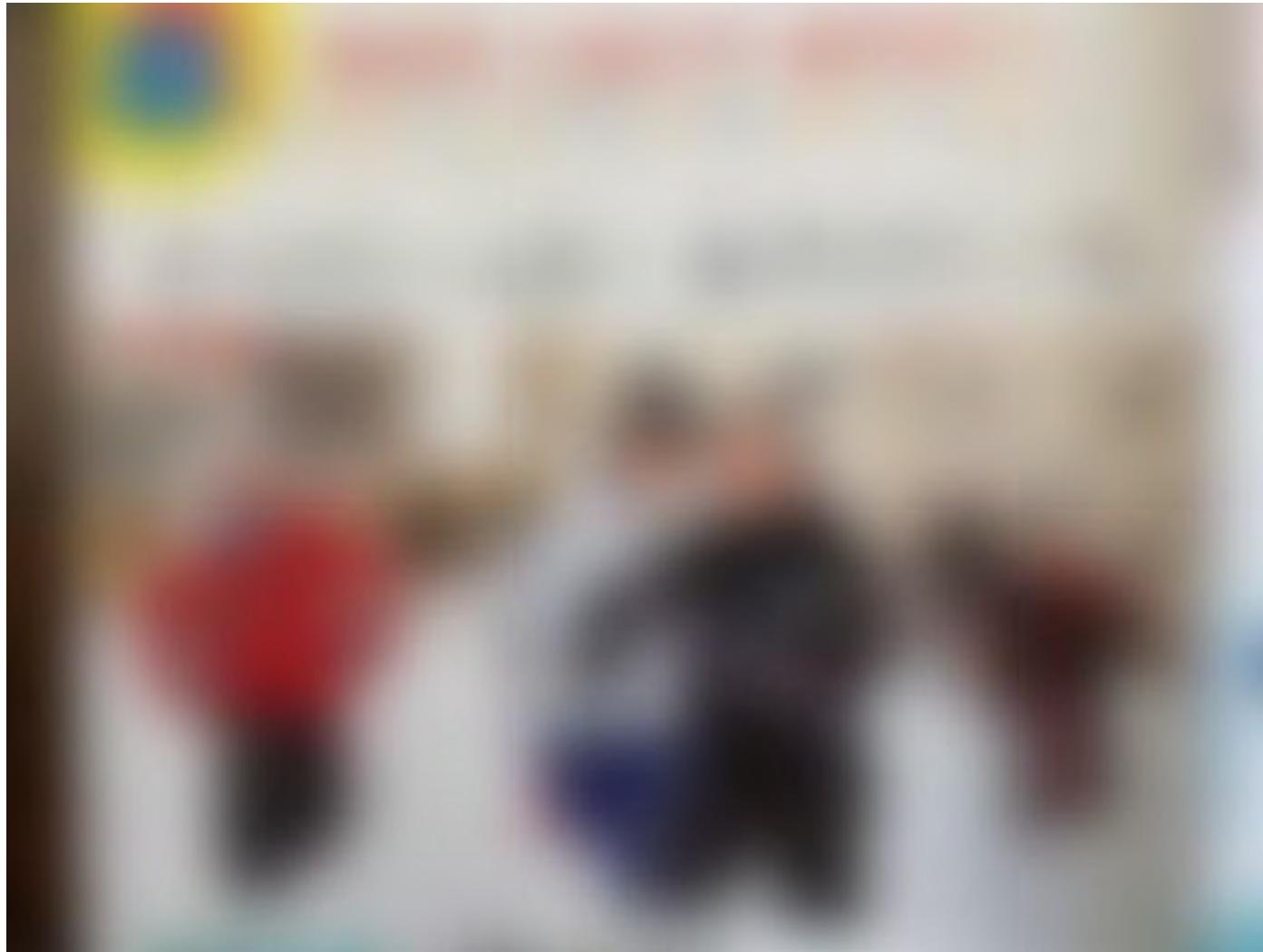


特徴

- 自分で行動。自分で考える。きっかけとなる教科書。
- 学び方を見る化
- 学びへの動機付け、学び続ける力を育てる。

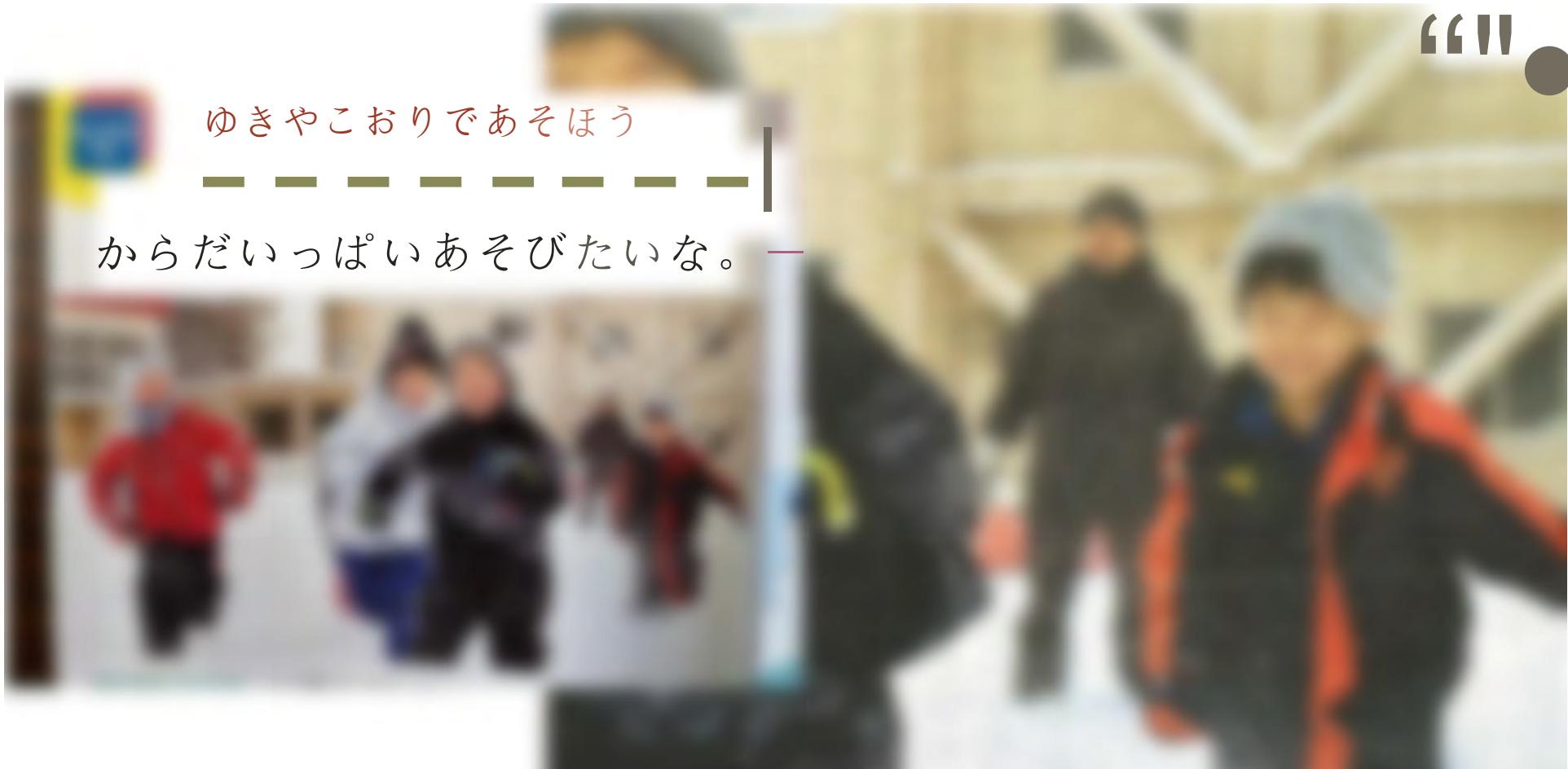


おまけ



“”

ゆきやこおりであそぼう
———|
からだいいっぱいあそびたいな。 —



座談会開始までに
準備を
お願いします。

- ① 回答用端末(スマホやタブレット、PC)
から左のURLにアクセスする。
- ② 下の端末画面のクラスコード欄に
この画面右上の表示5ケタ数字を入力



- ③ 次の画面に名前を入力
して「始めましょう！」
をタップして完了！

入力例) 渋谷・教育大



校内研修シリーズ

よりよい授業づくりのための
“新しい”教科書の使い方
－小学校編－

東京学芸大学大学院
教授

西村 圭一



- 2008年には教科書観が変わり、児童生徒が主体的に学び、理解度に応じた指導が可能になるような内容へとシフト。
- 教科書は学習活動の起点としての役割を強化。発問の工夫や自主学習を促すコーナーの設置が行われた。

- 授業の準備、実施、振り返りの各段階で活用し、問題解決の過程で深い学びにつながるような指導を推奨。
- 教科書には、見方や考え方を可視化する工夫が施され、教師はこれらを利用して、児童の理解を深めるための発問を準備することが大切。デジタルコンテンツへのアクセスを容易にする2次元コードの活用など、児童の実態に応じた柔軟なアプローチが求められる。

■ 手引（生活科教科書を含む）の活用について右の視点で考える！

- ※「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、自分の考えをもとに記述したり、話し合ったりできるような対話や討論のためにどう生かせるか
- ※記号やマーク、キャラクターなどをどう生かしていくか
- ※デジタルコンテンツの活用

具体的な生徒の姿で置き換える

主体的な学び

学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返り、次の学習につなげる



興味や関心を高める



見通しを持つ



自分と結び付ける



粘り強く取り組む



振り返って次へつなげる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める



互いの考え方を比較する



多様な情報を収集する



思考を表現に置き換える



多様な手段で説明する



先哲の考え方を手掛かりとする



共に考えを創り上げる



協働して課題解決する

深い学び

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働きかせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考え方を形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすること



思考して問い合わせ続ける



知識・技能を習得する



知識・技能を活用する



自分の思いや考えと結び付ける



知識や技能を概念化する



自分の考え方を形成する



新たなものを創り上げる

主体的な学び

学ぶことに興味や関心をもち、自己のキャリア形成の方向性と関連付けながら、見通しをもって粘り強く取り組み、自己の学習活動を振り返り、次の学習につなげる



興味や関心を高める



粘り強く取り組む



見通しを持つ



振り返って次へつなげる



自分と結び付ける

授業改善に向けた 学習者の視点

- 学ぶことに興味や関心を持つ
- 見通しをもつ
- 粘り強く取り組む
- 自己のキャリア形成の方向性と関連付ける
- 自己の学習活動を振り返って次につなげる



授業改善に向けた 授業者の視点

- 既習事項を振り返る
- 具体物を提示して引きつける
- 子供が自らめあてをつかむようにする
- 子供が自分の考えを持つようにする
- 子供の思考を見守る
- 子供の思考に即して授業展開を考える
- 子供の考えを生かしてまとめる
- その日の学びを振り返る
- 新たな学びに目を向けさせる
- 子供が明らかにしたくなる学習課題を設定する
- 学習課題を解決する方向性について見通しをもたせる

対話的な学び

子供同士の協働、教職員や地域の人との対話、先哲の考え方を手掛かりに考えること等を通じ、自己の考えを広げ深める



互いの考え方を比較する



先哲の考え方を手掛かりとする



多様な情報を収集する



共に考えを創り上げる



思考を表現に置き換える



協働して課題解決する



多様な手段で説明する

授業改善に向けた 学習者の視点

- 先哲の考え方を手掛かりに考える
- 子供同士の協働を通じ、自己の考えを広げ深める
- 教職員との対話を通じ、自己の考えを広げ深める
- 地域の人との対話を通じ、自己の考えを広げ深める



授業改善に向けた 授業者の視点

- 思考を交流させる
- 交流を通じて思考を広げる
- 協働して問題解決する
- 板書や発問で教師が子供の学びを引き出す



深い学び

各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働きさせながら、知識を相互に関連付けてより深く理解したり、情報を精査して考えを形成したり、問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすること



思考して問い合わせる



知識・技能を習得する



知識・技能を活用する



自分の思いや考えと結び付ける



知識や技能を概念化する



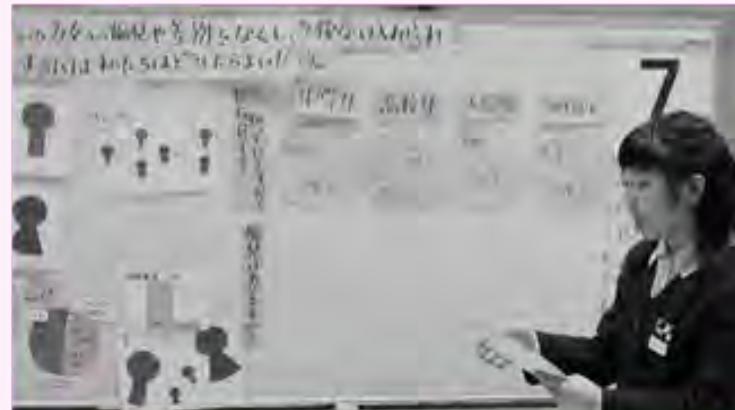
自分の考えを形成する



新たなものを創り上げる

授業改善に向けた 学習者の視点

- 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働きさせる
- 知識を相互に関連付けてより深く理解する
- 情報を精査して考えを形成する
- 問題を見いだして解決策を考えたり、思いや考えを基に創造したりすることに向かう



授業改善に向けた 授業者の視点

- 単元や各授業の目標を把握する
- ねらいを達成した子供の姿を具体化する
- 教材の価値を把握する
- 単元及び各時間の計画を立てる
- 目標の達成状況を評価する
- 資質・能力を焦点化する (つけたい力を明確にする)

